

## 多幸願い清酒を一気に飲み干す 中尊寺金盃披き

1月8日、恒例行事の「金盃披き」が中尊寺で行われ、町内外から約150人が参加しました。  
金盃披きは、中尊寺一山の僧侶が国家安泰などを祈り、元旦から行ってきた修正会の結願を祝う行事で、毎年同日に開催されています。  
僧侶によって、大中小の金盃になみなみと酒を注がれた参列者は静かに杯を傾け一気に飲み干し、今年1年の幸福と五穀豊穡を祈りました。



## 長寿の祝福に笑顔で応える 千葉ウメノさんが満100歳を迎える

千葉ウメノさん(13区)が12月20日、満100歳の誕生日を迎えました。自宅で家族が見守る中、青木町長から花束と記念品が贈呈されました。青木町長から「健康に注意して、これからも元気に過ごしてほしい」と長寿を祝福されました。  
千葉さんはしっかりと自分で食事を取り、漫画や新聞を読むなど毎日を楽しく過ごしています。千葉さんは「皆のおかげでこの年を迎えることができた」と感謝の言葉を伝え、祝福に笑顔で応えていました。



## 観光客らの安全・安心を守る 平成30年交通指導隊初点検

町交通指導隊(千葉慶信隊長)の平成30年初点検が1月9日、役場玄関前で行われました。  
初点検には隊員8人が参加。隊員は装備品を提示し、青木町長や吉田孝夫一関警察副署長の確認を受けました。  
決意表明では、千葉隊長が「飲酒運転の撲滅、高齢者を事故から守ることを重点に関係団体と連携していき、世界遺産のまちとして観光客の安全・安心も守るべく活動する」と誓い、交通安全の推進に向け、気持ちを新たにしていました。

## コンクールで優秀賞を受賞 千葉さんとあおいちゃん

県と一般社団法人岩手県歯科医師会が主催の「平成29年度岩手県よい歯のコンクール」のよい歯のおじいちゃん子・おばあちゃん子コンクール部門において、千葉裕子さん(5区)と岩淵あおいちゃん(5区)が優秀賞に選ばれました。このコンクールは、前年度に1歳6カ月児歯科健康診査を受診した幼児とその祖父母または曾祖父母を対象に選出されるもので、今回受賞した千葉さんは「現状を維持して5歳児表彰目指して頑張りたいです」と話していました。



## 祈りを込め若水を中尊寺に奉納 磐井清水若水送り

元朝に一関市東山町松川の磐井清水でくんだ若水を中尊寺に届ける「磐井清水若水送り」(実行委員会主催)が1月1日に町内で行われました。  
参加者約180人は冷たい雨が降る厳しい寒さの中、一関市東山町から平泉町までの約20\*の道のりを約6時間かけて歩き、同寺の金色堂へ若水を奉納しました。  
若水送りは、平成5年に平安時代の故事を基に再現行事を行って以来、新年の行事として毎年実施されています。

(写真提供:一関市)

## 今年の飛躍を誓い杯を交わす 平泉町新年交賀会

町、町議会、JAいわて平泉、平泉商工会が主催する「平泉町新年交賀会」が1月5日、平泉レストハウスで開かれました。  
会には来賓や各団体の代表者、区長や町民ら約270人が出席。青木町長と佐藤町議会議長が主催者を代表してあいさつ、藤原崇衆院議員、神崎浩之県議らが祝辞を寄せました。  
参加者は新年のあいさつを交わしながら新しい年を祝うとともに、今年の飛躍を誓い合いました。



## 迫力の舞で観客を魅了 南部神楽鑑賞会

町教育委員会主催の南部神楽鑑賞会が1月21日、平泉文化遺産センターで開かれました。  
鑑賞会には南部神楽の流れをくむ岩手県南、宮城県北の6団体が出演。このうち町内からは町教育委員会郷土芸能体験講座で達谷窟毘沙門神楽の御神楽の習得に励む平泉小学校と平泉中学校の児童生徒が出演し、未来へ伝える躍動感あふれる舞を披露し、町内外から詰め掛けた約200人の観客を魅了しました。



## 元気に暮らすための取り組み ひらいずみ女性の集い

「第11回ひらいずみ女性の集い」が1月6日、平泉文化遺産センターで開催されました。集いには会員ら約150人が参加。第1部では、町食生活改善推進協議会の瀧澤エイ子副会長が「食からはじまる元気な地域」と題し、役割や活動内容などについて紹介しました。  
また第2部では、NPO法人りくカフェ理事の鶴浦淳子さんと吉田和子さんが「いつまでも健康で自分らしくいきいき」と題して講演し、生きがいがづくりの大切さを語りました。